

# 山大グリーン・ツーリズム

—大学のもう一つの楽しみ方—

代表者 豊田実歩（教育B2年）

構成員 中川孝典（理学B4年）菅井佐津紀（教育B2年）神河裕未（教育B2年）

大澤将基（経済B2年）河野聖都（経済B2年）

門周佑（農学B2年）檜原康太（理学B1年）

中川壮（経済B1年）

## 1. 目的

4月に入学した一年生や留学生は、新たな環境に慣れず、下宿先と大学を往復する生活をしている人が多いと考える。そのような中で、大学内の畑を用い、「畑に行けば誰かがいる」という環境を作り、山大生のもう一つの居場所づくりをする。また、見過ごされがちな大学内にある多くの資源を発見し、有効活用し、大学内の環境改善、プロジェクト参加者の自然を感じる生活に貢献する。

## 2. 活動内容

○構成員と参加者（山大生）が、苗植えから収穫を行う。

- ・それぞれ「マイ野菜」を持ち、愛着と責任を持って世話できるようにする。

< 苗植えの準備 6月3日（火）18:00~19:30 場所：くいしんぼう畑（きらら横の畑） >

- ・活動者：4人（構成員）

- ・活動内容：マルチはり

ごみを出さないために、何度も使用できる不織布マルチを使用した。



マルチはりの様子

< 第一回夏野菜の苗植え 6月15日（日）10:00~11:30 場所：くいしんぼう畑 >

- ・参加者：12人（内新入生3人 留学生4人）

- ・活動内容：苗植え（オクラ、ピーマン、ミニトマト、ゴーヤ、ししとう）、花壇の草引き

まずは始めに、自分の「マイ野菜」の名札づくりとして、自己紹介をしながらアイスを食べた。そのアイスの棒に自分の名前や、野菜に名前をつけて書き、「マイ野菜」のそばに立てた。とまっちや井上さん家のピーマンなどユニークな名前がたくさんあった。（下記の写真）



オクラの「おっちゃん」(留学生A)

<花壇にコスモス植え 6月28日(土) 18:00~19:00 場所:くいしんぼう畑 >

- ・活動者:6人(内留学生4人)
- ・活動内容:花壇にコスモス植え

プランターにまいていたコスモスの種が芽を出し、花壇に植え替えた。台湾、タイ、タンザニアからの留学生と活動し、4か国の人が集まりグローバルな畑となった。



コスモスの植え替えの様子

○収穫祭を行い、交流を深める。

計17人(内新入生2人 留学生4人)で三回にわたり収穫祭を行った。

<第一回収穫祭 7月22日(火) 16:00~16:30 場所:くしんぼう畑 >

- ・活動者:4人(内留学生1人)
- ・活動内容:収穫(なすび、きゅうり、オクラ、ししとう)

タンザニアからの留学生と、この野菜は母国にはあるのかといった話や、どのように料理するのかといった話をしながら収穫を楽しんだ。

<第二回収穫祭 7月31日(木) 15:00~15:30 場所:くいしんぼう畑 >

- ・活動者:4人(内留学生1人)
- ・活動内容:収穫(きゅうり、オクラ)

台湾からの留学生と一緒に収穫を行った。母国の畑の話で盛り上がり、次は台湾の畑に招待して頂く約束をした。

<第三回収穫祭 8月5日(火) 7:30~8:30 場所:くいしんぼう畑 >

- ・活動者：9人（内留学生 1人）
- ・活動内容：収穫（きゅうり、オクラ、トマト）

暑さをしのいで朝早くから行ったのにも関わらず、たくさんの方々が参加してくださり、にぎやかな収穫祭となった。



収穫した野菜

○大学内にある資源を活用する。

「大学内にあるもので。大学外にごみを出さない」という大学内で完結する栽培を目指す。

<支柱づくり 6月18日（水）18：00～20：00 場所：男子寮前の竹藪、くいしんぼう畑 >

- ・活動者：6人（内留学生 1人）
- ・活動内容：竹取り、支柱づくり

施設管理の職員の方のご指導のもと、男子寮の前にある竹藪から竹を伐採し、支柱を作った。支柱を固定するためのひもの結び方も教えて頂き、キュウリやゴーヤ、トマトに支柱をすることができた。



山大産竹の支柱

○広報活動を行う。

畑での活動をポスターにし、掲載する。

<活動PRのポスターづくり 8月29日（金）13：00～17：00 場所：自主活動ルーム >

- ・活動者：2人
- ・活動内容：前期活動PRのポスターづくり

前期の活動の様子を画用紙にまとめた。作成しながら、畑での活動を通して出会った人たちのこと

を思い返し、畑という場所が人と人をつなげる場所になるということを再確認した。



PRポスター（自主活動ルーム掲示板）

### 3. これまでの活動の反省点

<よかった点>

- ・畑での活動を通して、4人の留学生の方々と交流することができた。
- ・施設管理の職員の方のご指導のもと、竹で支柱を作るといった大学の環境改善に努めることができた。
- ・畑での活動の中で、夕日を見たり、虫の音を聞いたりと参加者の自然を感じる生活に貢献することができた。
- ・たくさんの野菜を収穫することができた。

（きゅうり約 50 本、オクラ約 100 本、ゴーヤ約 50 本、ピーマン約 100 個、カボチャ約 60 個）

<改善点>

- ・畑での活動日が不定期で、「畑に行けば誰かがいる」という環境を作ることができず、参加者一人一人の居場所にするができなかった。改善方法として、毎週何曜日の何時から活動するというように、活動を明確にし、「畑に行けば誰かがいる」という環境を作りたい。
- ・掲示物やチラシなどの広報活動を行うことができなかったため、これからは、食堂きららから見えるところに看板を立てるなど、広報活動にも力を入れていきたい。新入生の参加が少なかったため、勧誘していきたい。
- ・収穫物を参加者には提供することができたが、他の学生にはできなかったため、広報活動もかねて収穫物を加工して配布したり、展示したりして、多くの人に畑の恵みを提供していきたい。

### 4. 今後の活動計画

- ・秋野菜の栽培（10/1～2/1）
- ・畑の看板づくり（10月下旬）
- ・落ち葉を使った肥料づくり（11/1～12/31）
- ・収穫したカボチャでハロウィンパーティー（10月下旬）
- ・秋野菜（にんじん、大根、カブ、白菜、ブロッコリーなど）で、郷土料理づくり（12月中旬）

### 5. まとめ・これからの抱負

前期の畑での活動を思い返すと、畑での活動を通して出会った人たちのことを思い出し、とても温かい気持ちになる。このような人と人をつなげる畑を一人でも多くの人に実感してもらいたいと思う。